

ネビューシア・アラバメンシス

A.Gray

バラ目 バラ科 モモ(サクラ)亜科

アメリカ南東部の非常に限られた地域に自生する落葉灌木で、ヤマブキやシロヤマブキに近縁。花弁がなく、代わりに雄しべが白く目立つ。

野生の個体も含めて、現存する全個体が同一クローンで、自家不和合性のため種子をつけることがない。すでに野生絶滅した *Franklinia* などと同様に絶滅の一手手前で、栽培下でのみ生き延びていく植物。

1858年の記載以来長く1属1種であったが、1992年に *N. cliftonii* がカリフォルニア州で発見された。この種も野生では似た状況だが、種子はつけることがある。

原産地・分布: アメリカ南東部(限定的)

個体番号: 1981P-0006_1

導入元: 安藤敏夫; 導入時の名前: *Neviusia alabamensis*; 導入日: 1981; 由来: 栽培; 導入形態: 植物(株の詳細なし); 備考: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea



Plant ID: 1

千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-23